

脳挫傷による 高次脳機能障害者に対する関わり ～感情コントロールの低下への対応について～

短時間通所リハビリテーション
作業療法士 清水美穂

脳挫傷による高次脳機能障害

- ▶ 脳挫傷：頭部を強打するなどの要因によって外傷を受けた際に、頭蓋骨内部で脳が衝撃を受けて脳本体に損傷を生じる病態
- ▶ 脳挫傷による高次脳機能障害
 - ・見当識障害 ・全般性注意障害
 - ・記憶障害 ・前頭葉機能障害（発動性低下，転換の障害）など

身体障害が軽度か、またはほとんど認められず
周囲からは理解されにくい

見えない障害

本人は自覚があるほどストレスを抱えている可能性が高い

当施設での 高次脳機能障害を呈している利用者

- ▶ 脳血管障害による高次脳機能障害を呈していると思われる利用者は15名（全利用者は80名）
そのうち、脳挫傷による高次脳機能障害を呈している利用者は3名
- ▶ 高次脳機能障害に対してのリハビリを希望されている利用者は1名

症例

- ▶ S・M 様 68歳 男性
- ▶ 診断名：脳挫傷，外傷性くも膜下出血，遅発性脳内血腫
- ▶ 現病歴：H22.10.7歩道で転倒し受傷．A病院に入院した．
H22.12.28自宅退院した．
H23.2.7短時間通所リハビリを利用開始した．

【評価】

- ▶ 身体機能：明らかな麻痺はみられない
- ▶ 高次脳機能障害：HDS-R27/30点，自己制御（感情コントロール）低下，左半側空間無視，注意障害
- ▶ 性格：高学歴で理論的な言い方が多くプライドが高い
- ▶ 通所リハビリへの希望：「体力をつけたい」「脳トレがしたい」

問題点・プログラム

【問題点】

- ①自己制御（感情コントロール）の低下による
社会交流の困難さがある
- ②左半側空間無視による移動時の転倒危険性
がある

【プログラム】

- ▶ 個別リハビリ：新聞を読んだり，課題を実施
（左半側空間無視，注意障害に対する）
- ▶ 物理療法
- ▶ 下肢の運動

自己制御の低下

- ▶ 感情をコントロールできない
(ささいなきっかけで激しく怒る)
- ▶ 衝動や欲求を抑制できない
- ▶ 固執する
- ▶ 生活リズムが乱れる
- ▶ 他者の些細な不正が許せない

利用開始時の症例の様子

- ▶ 少しでも待たされると陰しい表情でイライラしていた
- ▶ 「左側に注意しろと言われるが誰がどう判断しているのか」と怒りながら説明を求めてきた
- ▶ 検査中、理解ができないと「ルールがおかしい」と機嫌が悪くなっていた
- ▶ 妻への不満があり、よく喧嘩していた

感情コントロールの低下に対する 対応のポイント

【本人の対応】

- ①原因から物理的に離れる
- ②気分を切り替えるきっかけを決めておく
- ③別のことを考えるためにあらかじめ楽しいテーマを用意しておく

【周囲の対応】

- ①約束をして守らせる
- ②原因から物理的に離す
- ③フィードバックする
- ④反社会的な行動は禁止する
- ⑤良いところは褒める

文献：阿部順子，蒲澤秀洋：50シーンイラストでわかる高次脳機能障害「解体新書」，
株式会社メディカ出版，2011

対応のポイントに応じた実際の関わり

【周囲の対応】

②原因から物理的に離す

→通所リハビリに来ることで妻と離れる時間ができる

→イライラしたら課題を中断し、休憩をした

③フィードバックする

→感情に対して振り返りを行い、原因を一緒に考えた

⑤良いところは褒める

→課題ができたことに対して褒めたり、知識に対して褒めたりなどの快刺激となる会話をした

※対応のポイントの①④に対しては実施していません。

現在の症例の様子

- ▶ いつも笑顔で挨拶をしている(笑顔がふえた)
- ▶ 時々イライラしているが理由を話してくれ、すっきりとした表情をされている
→ **イライラを解消する手段を獲得**
- ▶ 検査に対して協力的で、理解が困難な状況になると「難しいルールだな」と言いながらも熱心に取り組んでいる
- ▶ 妻への不満は変わらずあり、喧嘩はしている

まとめ

- ▶ 高次脳機能障害は発症・受傷後1～2年の間にゆっくり回復していく.
- ▶ 「できない」ことなど本人のイライラする原因を反復練習するのではなく、「できる」ことを行い楽しい嬉しい経験をする支援ができた
- ▶ 高次脳機能は捉えにくく関わりにくいですが、苦手意識をもたずに障害を理解する努力をする

補足

左半側空間無視について

半側空間無視：大脳半球病巣と反対側の刺激に対して反応せず，
またはそちらを向こうとしない症状である

急性期を除けば，右半球損傷後に生じる左半側無視が多い

線分二等分試験

方法: 20cm線の中心に印をつける

▶ 初期(評価日: H23.2.28)



右から5.3cm

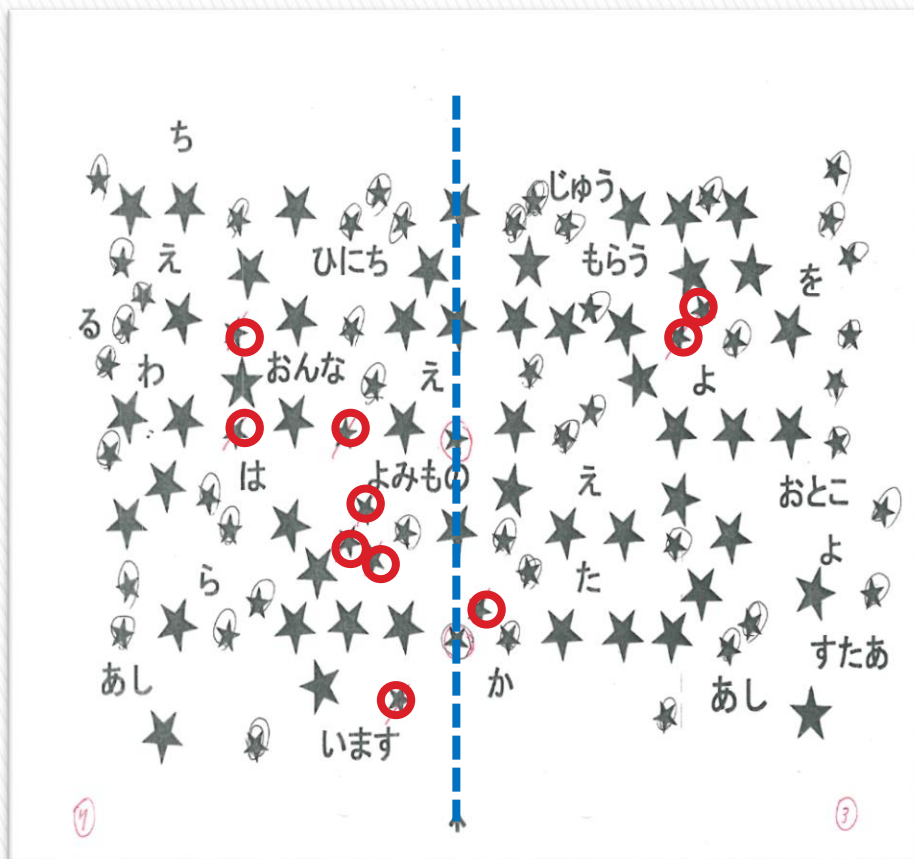
▶ 現在(初期から約1年後)



右から9.3cm

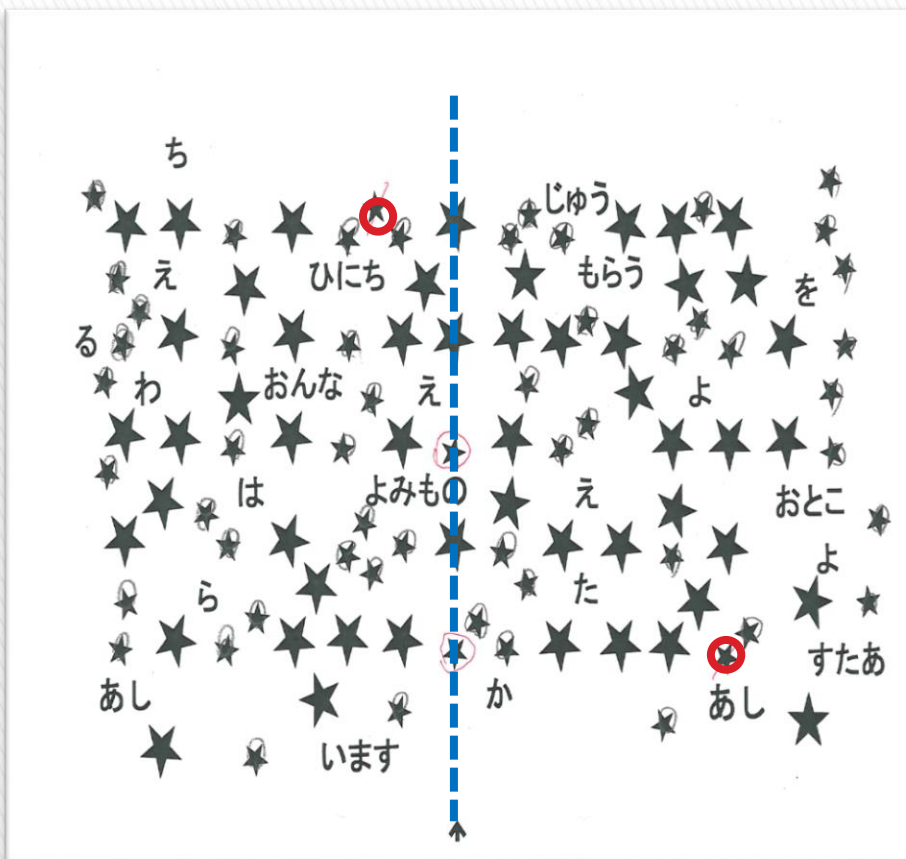
星印末梢試験

方法：小さい星のみに印をつける



初期(評価日:H23.2.28)

見落とし数:左;7 右;3



現在(初期から約1年後)

見落とし数:左;1 右;1